

2.1 ドクトカゲ類〈トカゲ亜目、ドクトカゲ科、ドクトカゲ属〉

- ア 和名：アメリカドクトカゲ
英名：Gila monster
学名：*Heloderma suspectum*



【アメリカドクトカゲ】

- イ 和名：メキシコドクトカゲ
英名：Beaded lizard
学名：*Heloderma horridum*



【メキシコドクトカゲ】

(財) 東京動物園協会提供

(1) 動物の特徴と同定

ア アメリカドクトカゲ

分布：アメリカ合衆国南西部（カリフォルニア、アリゾナ、ユタ、ニューメキシコ）メキシコ北西部（ソノラ、シナロア）

特徴：体色は黒褐色か茶褐色で、頭頂部や胴にはピンク色の複雑な帯状の斑紋や斑点があり、尾では横縞模様になる。吻端は丸く頭部は扁平で、胴は太く、尾も太くて短い。全身は小さなビーズ状のうろこで覆われている。四肢は体に比較すると小さい。

全長：30～50cm

習性等：

- ・砂漠、岩の多い荒地、低木林などの住み、日中でも、餌を捜しに歩き回る。動作は鈍いので、爬虫類、鳥、哺乳類などの巣を捜し、卵やヒナ、ネズミの子供などを食べる。
- ・トカゲのなかで毒があるのは本種とメキシコドクトカゲ (*Heloderma horridum*) の2種のみ。下顎に毒腺があり、咬まれると毒は下顎の奥歯を伝って傷に入る。毒は神経毒。
- ・卵生、3～10個の卵を産む。
- ・飼育記録28年。

イ メキシコドクトカゲ

分布：メキシコ西部、グアテマラ

特徴：体色は茶褐色で、胴にはやや赤味がかった淡黄色の小さな斑点が散在する。頭頂部には斑点がなく、頭部は一様に黒か黒褐色であり、尾の淡黄色の横縞模様も細い。

体形は前種に似るが、ひとまわり大きい。尾も前種と比較するとやや細くて長い。

全長：40～70cm 最大 100cm

習性等：

- ・森林や灌木林に住み、主に地上で生活するが木にもよく登る。舌はオオトカゲ類ほどではないが細長く、先端が二叉に分かれていて、においを嗅ぐのに使用し、爬虫類の卵、鳥類の卵やヒナなどを捜し出して食べている。
- ・有毒。前種と同様下顎の奥歯を伝って毒液が出るので、深く咬まれない限り危険性は少ない。また、動作も緩慢なので、ほとんど咬まれることはないが、不用意に口先に手を出すと突然跳びかかられることがあるので、注意が必要。
- ・5～15個の卵を産む。
- ・飼育記録 27年。

(2) 保定方法とマイクロチップの埋込み

ア 保定の方法

A 器具を使用しない保定法

器具を使用しない保定は避ける。

B 器具を使用した保定法

ドクトカゲを玉網ですくい上げ、網を絞ってドクトカゲを動けなくして床面に押さえつけ、網の上から頭部をつかむ。

C 特に注意すべき事項

マイクロチップの埋込み処置は短時間で終了し、また安全に保定できるため、原則的には麻酔は要らない。全て作業に当たり、保定者は皮手袋を装着すること。

イ マイクロチップの埋込みの方法

A 埋込みの部位

鼠径部の皮下（左側）に埋込む。

B マイクロチップ埋込みの実際

術部をイソジン綿、70%アルコール綿で消毒し、埋込み器の針を上記の皮下に穿刺しマイクロチップを埋込む。マイクロチップの脱落を防ぐために、皮膚の穿刺痕に外科用接着剤を塗布し、外用散剤を散布する。